

# 令和4年度 決算報告

令和4年度決算状況から見る市の財政状況は「健全」です。国が自治体の財政状況把握のための指標を設けており、その指標に合わせ毎年、財政の健全性を確認しています。その状況を見てみましょう。

## ① 実質赤字比率



黒字

普通会計（一般会計と土地取得特別会計の計）の赤字の程度を示す比率で、財政運営の悪化の度合いを示します。牧之原市は、収入総額が支出総額を上回っているため、黒字です。

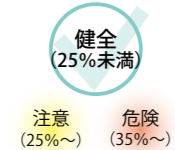
## ② 連結実質赤字比率



黒字

牧之原市の全ての会計を合計した収支の赤字比率です。①の実質赤字比率と同様に、特別会計や水道事業会計を加えても黒字の運営をしています。

## ③ 実質公債費比率



5.5%

市（一部事務組合などを含む）の借金の返済額の大きさを示す指標で、この比率が高いほど返済負担が重くなります。借金をするために県の許可が必要となる基準18%を平成25年度に下回り、令和4年度は5.5%になりました。（県下平均値5.5%（※） ※指定都市を除く。）

## ④ 将来負担比率



— %

借金返済や将来も支払わなければならない負担金などの残高を指標化したものです。この比率が高いほど、将来、財政が圧迫される可能性が高いこととなります。\* 充当可能な財源が将来負担額を上回っているため「—」と表示しています。

## ⑤ 資金不足比率



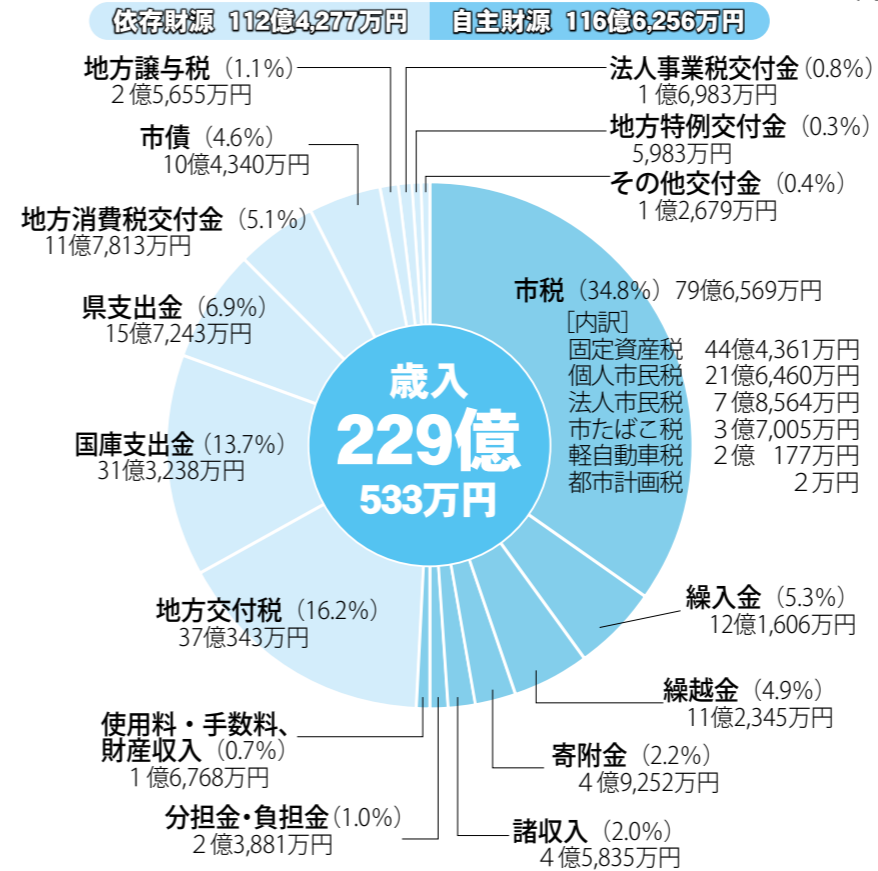
黒字 (資金不足なし)

事業会計の料金収入に対する資金不足（赤字額）の比率で、経営状況の深刻度を示します。市の水道事業と農業集落排水事業については、資金不足はありません。

## 「コロナ対策」、「物価高騰対策」、「脱炭素化」を推進

令和3年度に引き続き、新型コロナワクチン接種事業などの「コロナ対策」を実施しました。「物価高騰対策」では、住民税非課税世帯などへの給付事業やプレミアム商品券・デジタルクーポン事業などを実施。「脱炭素化」社会の実現に向け、再生可能エネルギー利活用のための補助金交付やZEB Readyの認証取得を目指す多目的体育館整備事業などに取り組みました。

問い合わせ 財政課 松下幸弘 ☎0054

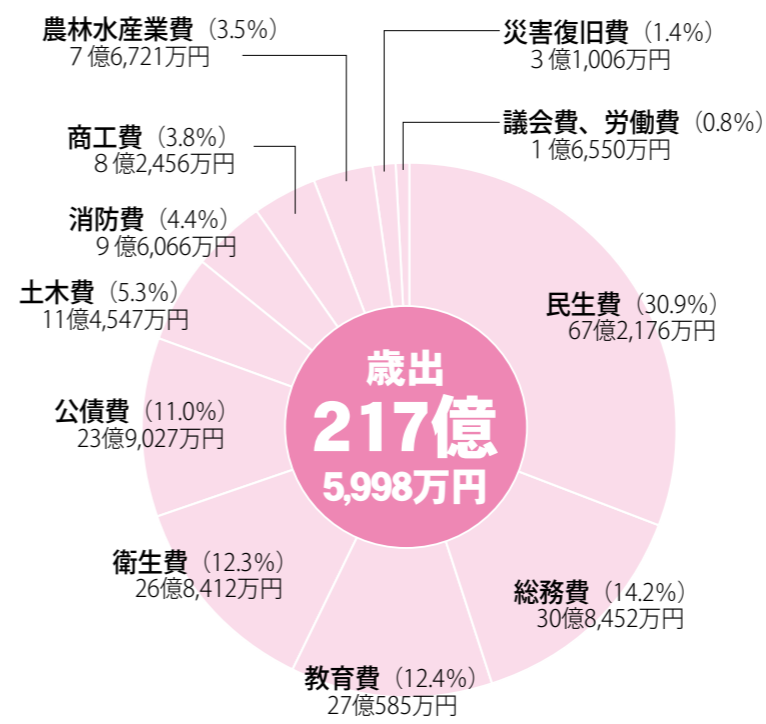


**歳入 (収入)**  
令和4年度一般会計の歳入は229億533万円（前年度比△1.9%）で、市税は前年度比6億6974万円（前年度比9.2%）の増額となりました。特に法人市民税は、コロナ禍からの経済回復により前年度比7329万円（前年度比90.5%）の増、固定資産税も市内主要法人の設備投資

資などにより昨年度を上回りました。また、繰入金は多目的体育館整備事業に基金を活用したことから前年度比11億841万円の増額となりました。一方で、臨時財政対策債の大幅な減少により市債の借入額は前年度比16億1690万円（前年度比△60.8%）の減額、県支出金は放射線防護施設整備事業などの完了により前年度比6億4927万円

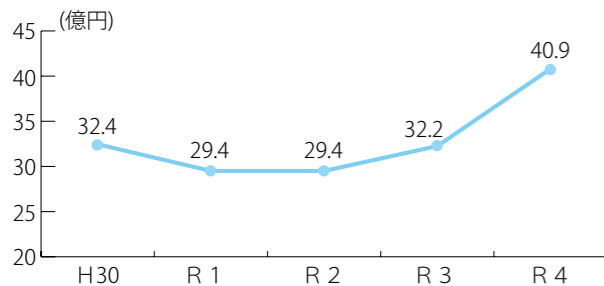
**歳出 (支出)**  
歳出は、217億5998万円（前年度比△2.0%）となりました。そのほか、国庫支出金や地方特例交付金などの減額もあり、歳入全体では昨年度を下回りました。

や遠隔窓口支援システムの構築などICT化を推進、保育園施設マネジメント計画に基づいた公立保育園の民営化や環境にやさしい農業を目指すオーガニックまきのほら推進事業に取り組んだほか、台風15号による災害復旧事業や勝間田消防館建築予定地の用地買収の実施、学校再編へ向け本計画の策定などに着手しました。



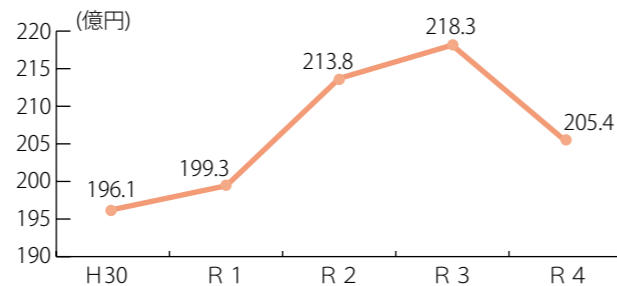
### 財政調整基金 (貯金) の推移

昨年度と比較すると、8億7千万円の増額となりました。事業費の年度間の調整財源として活用しています。



### 市債残高 (借金) の推移 (普通会計)

借入額が昨年度と比較すると大幅に減額となりました。借入額が返済額より少なかったため、前年度より市債残高が減少しました。



### 水道事業会計 (企業会計)

区分	収入	支出
収益的収支	9億9,721万円	9億8,013万円
資本的収支	9,543万円	3億3,929万円

収益的収支 = 水道事業を運営するための収支を表したものの  
資本的収支 = 配水池の建設や管路の整備など、資産の整備と企業債償還金などの支出、その財源となる収入の収支を表したもの

水道事業会計（企業会計）は、地方公営企業法に基づき設けた水道事業を行う特別会計で、民間企業と同様の経理や決算を行います。

### 特別会計

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	52億4,400万円	49億5,679万円
後期高齢者医療	5億5,904万円	5億5,786万円
介護保険	45億1,690万円	43億7,430万円
土地取得	3,554万円	3,554万円
農業集落排水事業	1,334万円	1,084万円

特別会計は、市が特定の事業を行うために、一般会計と区別して設けるもので、特別会計ごとに決算を行います。

# 令和4年度に実施した主な事業

## 健康福祉

- ▼**こども医療費助成事業**（1億6459万円）**民生費** 子育て世帯の経済的負担の軽減と早期受診による子どもの健全な育成のため、高校生までの医療費を助成。
- ▼**公立保育園等の民営化事業**（4257万円）**民生費** 保育園施設マネジメント計画管理事業に基づき菅山保育園、萩園保育園、勝間田保育園の3園について牧之原市社会福祉事業団への移管を実施。
- ▼**地域医療振興事業**（4703万円）**衛生費** 市内に診療所を開設する医師に対し開設費用の一部を助成し、地域医療サービスの充実を推進。
- ▼**予防接種事業**（1億988万円）**衛生費** 各種ワクチンなどの定期予防接種の実施や接種機会を逃した子宮頸がんワクチン未接種者への接種勧奨を実施。
- ▼**新型コロナウイルスワクチン接種事業**（2億2298万円）**衛生費** 円滑に接種を実施するために市内総合病院および医師会などと連携し、ワクチン接種体制の整備を行い、集団および個別接種を実施。
- ▼**妊産婦疾患治療費助成事業**（98万円）**衛生費** 母子保健の向上と胎児の健全育成を図るため、妊娠に起因する疾病の治療費を助成。
- ▼**価格高騰緊急支援給付事業**（1億6478万円）**民生費** 物価高騰対策として家計への負担の大きい非課税世帯に対し給付を実施。

## 生活基盤

- ▼**光熱費高騰対策事業**（766万円）**農林水産業費** 光熱費高騰により影響を受けた茶工場への支援を目的に、茶業振興協議会へ補助金を交付。
- ▼**道路ストック補修支援事業**（1億1990万円）**土木費** 道路ストック修繕計画に基づき、市道の舗装補修5路線および法面補修1路線の補修工事を実施。
- ▼**道路メンテナンス事業**（9064万円）**土木費** 橋梁およびトンネルの長寿命化計画に基づき、市内51橋およびトンネル2カ所の点検を実施。
- ▼**空港隣接事業**（1億6329万円）**土木費** 空港隣接地域の主要幹線道路・生活道路の整備、河川改良事業を実施。市道八ツ枝毛ヶ谷線改良（8268万円）、市道坂部細江線改良（5661万円）、準用河川辻川改修（2400万円）など。
- ▼**相良牧之原IC北側地域整備事業**（1億7128万円）**土木費** IC北側地域の道路整備事業や排水路整備事業を実施。
- ▼**道の駅（仮）さかべ整備事業**（764万円）**土木費** 道の駅（仮）さかべ整備事業の基本設計および測量を実施。
- ▼**創エネ・省エネ・畜エネ設備設置補助事業**（258万円）**衛生費** 一般家庭における再生可能エネルギー活用推進のために補助金を交付。

## 教育文化

- ▼**学校再編計画策定事業**（990万円）**教育費** 新しい学校づくりのための「学校施設整備基本構想・基本計画」の検討およびシンポジウムなどによる広報を実施。
- ▼**英語力サポート事業**（2026万円）**教育費** グローバル化する国際化社会に対応するため、語学力の向上を目的に外国人英語指導助手の配置やイングリッシュキャンプなどを実施。
- ▼**ICT活用推進事業**（4212万円）**教育費** 校内にICT支援員を配置し、機器の使い方のサポートや管理を行うことで授業や校務で効果的な活用を促す支援を実施。
- ▼**小学校特別教室空調機器設置事業**（2716万円）**教育費** 児童・教職員の体調管理および学習意欲向上を目的とした教育環境の改善のため空調機器を設置。
- ▼**榛原図書館整備事業**（482万円）**教育費** 読書環境の整備と図書館機能の拡充を目的とした榛原図書館整備事業を実施。

## 産業経済

- ▼**新規点開発推進事業**（170万円）**土木費** 牧之原市IC北側土地区画整理組合を設立し、賑わいと雇用の場の創出、移住・定住人口の拡大などに寄与する新たな拠点づくりを推進。

## 防災

- ▼**多目的体育館整備事業**（11億6765万円）**教育費** 多目的に利用できる機能を有し、災害時には市の防災拠点となる施設として、多目的体育館整備事業の工事を実施。
- ▼**農村地域防災減災事業**（8717万円）**農林水産業費** 耐震性が不足している農業用ため池の改修工事を実施。
- ▼**津波高潮防災ステーション更新事業**（4540万円）**農林水産業費** 津波高潮防災ステーションが設置から18年経過し、機器類に故障が多発しているため、全面的な設備更新を実施。
- ▼**地頭方漁港海岸保全施設整備事業**（4875万円）**農林水産業費** レベル1津波から住民の生命・財産などを守るため、地頭方漁港海岸保全施設の護岸・胸壁・陸間の高上改良工事を実施。
- ▼**静岡地域消防広域化事業**（6億8941万円）**消防費** 災害時における管轄区を超えた消防・救急活動が展開できるように、地域消防の広域化を継続。
- ▼**勝間田消防館建設事業**（3969万円）**消防費** 第5分団勝間田消防館建設に向けた実施設計・用地の買収を実施。

## 市政経営

- ▼**定住促進奨励事業**（5116万円）**総務費** 子育て家族定住奨励金、結婚新生活支援助成金、移住就業支援事業補助金

- ▼**商工業振興支援事業**（1億2971万円）**商工費** 地域経済の活性化のためにスタートアップ支援事業「まきチャレ」の開催や、地産地消支援事業として「勝負メシ」プロジェクトを実施。緊急経済対策としてプレミアム商品券、デジタルクーポン、デジタルスタンプラリー事業などを実施。
- ▼**茶業緊急支援事業**（1345万円）**農林水産業費** 静岡牧之原茶の普及拡大のため販路拡大の支援や、低炭素社会実現のため荒廃農地の収益化とオーガニックまきのはら推進事業の業務委託を実施。
- ▼**海水浴場開設及び海岸整備事業**（4529万円）**商工費** 安心・快適に海水浴を楽しめるようにするため、ライフセーバーの常駐、海水浴場および駐車場の運営管理を実施。また、年間を通じてマリンスポーツ環境を提供することで、観光交流の活性化を推進。



牧之原市チャレンジビジネスコンテスト（まきチャレ）表彰式



スマホ講座（基礎編）

- ▼**行政サービスICT化推進事業**（3362万円）**総務費** 行政サービスの向上を目的とした行政手続きのオンライン化や遠隔窓口支援システムの構築などによる業務改革を実施。
- ▼**若者に魅力あるサービス等創出支援事業**（492万円）**総務費** 若者が魅力を感じるライフスタイルやサービスの創出について、公民連携による事業推進や事業モデルの検討を実施。
- ▼**マイナンバー制度推進事業**（1143万円）**総務費** マイナンバー制度普及のためにマイナンバーカードおよびマイナンバーに関連する手続きについて特設ブースの設置や出張申請受付などで市民のサポートを実施。